

9・15-16戦争法弾圧弾劾!不当な勾留をやめろ!

全員を直ちに釈放せよ!

6・15 闘争実行員会

東京都杉並区下高井戸 1-34-9

03(3329)0168/0165 <http://zengakuren.info/>

国家権力は、戦争法案に反対する国会前闘争の場において、9月15日に3名を、同16日には13名を不当逮捕し、今なお8名の勾留を継続している。7月15日以降でも25名が逮捕されている。この不当弾圧を徹底弾劾する。

9・24権力はマスコミを引き連れてガサに訪れ、「現代社」ビルガサを大々的にキャンペーンし、東京地裁は、勾留理由開示公判を「2名ずつしか受け付けない」とし、16日に同じ現場で逮捕された6名の分離を強行し、獄中の仲間たちの分断を図ってきている。絶対に許さない! 完黙-非転向や取調拒否で不屈に闘う獄中の仲間たちと共に闘おう! ただちに全員を釈放せよ!

●同志への狙い打ち弾圧と暴行の集中を許すな!

国会前闘争は戦争法案の強行採決に進む安倍政府への怒りが大きく爆発した。権力は労働者人民の怒りと闘いが実力闘争として爆発することを恐れ国会前歩道をカラーコーンと鉄柵で規制し、道路を封鎖していた。しかし、14日には権力の規制の象徴である鉄柵を突き崩し、その封鎖を突破し国会前面に集結する闘いが果敢に闘われた。多くの労働者・人民が国会を防衛する権力・機動隊に身体を張って立ち向かった。

その闘いに恐れをなした権力は、翌15日に封鎖を強化し、二重の鉄柵規制を強行した。その日、すでに鉄柵攻防を多くの人民が闘っていた、その闘いに合流した同志たちを狙い打ち的に地面に引き倒し、数人がかりで腹や顔面を蹴り続け、2名を「公妨」で不当逮捕したのである。赤坂署3号同志は、左胸打撲・後頭部強打・顔面に数カ所の擦過傷を負った。着衣は、衣類の体をなさないくらいビリビリに引き裂かれた。



逮捕時にビリビリに引き裂かれた着衣

翌16日もさらなる重警備と規制を突破して、「参院特別委員会採決阻止!」と国会正門前に多くの人民が押し寄せた。鉄柵は決壊し、国会正門に迫る。指揮官車から、権力は声をうわずらせ「対象に注意しろ!」と叫び、13名を狙い打ちで逮捕したのである。このむき出しの攻撃にあっても決起した労働者・人民はひるむことなく、奪われかけた仲間を何度も隊列へ奪え返し、非妥協の闘いを貫徹した。

戦争法と弾圧は一体だ。15年戦争は治安維持法弾圧と一体で凶行された。戦争立法粉碎

の闘いの過程でもそれが証明された。弾圧を粉碎して戦争法を粉碎しよう。

●獄中同志たちの実力での闘いと結びつき、弾圧を粉碎しよう!

この不当弾圧に対する怒りの完黙一非転向闘争が獄中で爆発している。獄中3同志は、完黙一非転向の闘いの延長としての”取り調べ拒否”の闘いに決起している。地検押送、裁判所押送も拒否した。権力は蒼白になり、房内で対峙する同志に暴行を加えながら引きずり出そうとし、数人がかりで車いすに縛りつけ、強制的に連行した。この獄中同志の不屈の闘いに何としても連帯しよう。

警察・検察・裁判所、そして監獄一すべての弾圧機関の反人民性を暴露し解体する闘いを、獄内一獄外貫いて闘おう。

●赤坂署の「保護房」叩き込みを許すな!「保護房」を撤廃せよ!

赤坂署3号同志は、9月18日、地裁から帰ってきてから23日朝まで5日間、「保護房」に叩き込まれた。同志の取り調べ拒否・連行拒否の闘いに対する報復的な「保護房」叩き込みである。断じて許さない。



9・23赤坂署への弾劾行動

これは「保護房」弾圧の更なる拡大である。「保護房」はそれ自体許しがたいが「大声を上げるから」「自傷他害の恐れ」を口実に使用されてきた。しかし「看守の指示に従わないから」などというのは前代未聞である。そして、「指示に従わない」例としてあげているのが、取り調べ拒否と「受領に本名を書かないから」とまでいっている。黙秘の被疑者はいつでもどこでも受領などのサインは留置番号で通してきた。これはあらたな黙秘つぶし攻撃でもある。絶対に許してはならない。突出する赤坂署徹底弾劾!

昨年から、都内各署一新宿・高輪・大崎・赤坂・赤羽と連続して、署の「保護房」やその連行途中で人民が警察官によって虐殺されている。赤坂署は、2月に路上で取り押さえた米国籍の男性の両手・両足を結束バンドでしばりあげ、警察官が制圧し、暴行の末、心肺停止―意識不明のまま、3月に死亡させた、その当該警察署なのだ。そして、赤坂署3号同志は、このことに怒りを燃やし、事件発覚当時から赤坂署弾劾を闘ってきた。今回の「保護房」ぶち込みは、その報復でもある。

22日に事態を知った我々と仲間達は、「絶対に許さん」と抗議行動にたちあがった。22日夜から赤坂署へは抗議電話が集中し、23日朝、弁護士は留置に直接抗議し、抗議書を送りつけた。そして、23日夜には、この攻撃に怒れる仲間たちが結集し、赤坂署への弾劾行動を闘いぬいた。3月の虐殺への追及もあわせて、共に同志への「保護房」虐殺攻撃を徹底弾劾し闘いぬいた。「保護房から出せ」「仲間を返せ」「保護房撤廃」「監獄解体」「分断攻撃を許さんぞ」と、抗議行動が権力の暴力的排除攻撃と対決して1時間にわたって闘いぬかれた。この闘いの中で、赤坂署3号同志を「保護房」から出させた。「保護房」撤廃!

安倍政府へ怒るみなさん! 今こそ弾圧と不屈に闘い、実力・武装の闘いをもって日帝国家権力打倒へ攻め上ろう。戦争法成立徹底弾劾! 戦争突撃粉碎! 弾圧に総力で反撃しよう! 同志たち被弾圧者全員の奪還をかちとろう!